

## 津波で海底に散乱したブロックを回収

このたび東北地方整備局では、ホッキ漁の漁場となっていた山元海岸沿岸で、東北地方太平洋沖地震に伴う津波により海底に散乱した消波ブロック等の回収を開始しましたのでお知らせいたします。

山元海岸沿岸では、震災後から宮城県、東北大学、地元漁協、東北地方整備局が連携して海底に散乱した震災ガレキや消波ブロック等の状況調査を実施し、回収に向けた調整を進めてきたところです。

東北地方整備局では、これまでの調査で散乱した海底の消波ブロック等の状況を概ね把握出来たことをうけ、回収に着手するものです。

### 《 概要 》

#### ○事前調査の実施：ソナーを用いた海中の調査を実施。

昨年9月よりソナーを用いた海中の調査を実施。その結果上記区間に約4,000個の消波ブロック等と思われる物体を確認。

漁協と調整を行い、漁に支障となる範囲を絞り込み。

#### ○回収範囲：山元海岸(約9km区間)

消波ブロック等が海底に散乱している宮城県漁協山元支所のホッキ貝等の漁場。

#### ○回収着手箇所：定置網設置箇所から回収を開始(約700個)

漁協と調整し、まず坂元川と一の沢川河口部の定置網漁実施箇所に散乱する約700個の消波ブロック等の回収に着手。

#### ○スケジュール：3月18日より回収開始。

回収に使用するクレーン船等が、基地となる磯浜漁港に2月22日に到着。その後漁港内の航路確保のための浚渫作業等、回収に向けた準備作業を3月12日から実施。

本格回収は3月18日からを予定。

#### ○使用船舶の種類等：以下の4艘で構成。

- ・起重機船(150t吊りクレーン船(大きさ：40m×18m×3m))
- ・押し船(起重機船の移動に使用)
- ・潜水土船
- ・小型船舶

(添付資料)

- 被災前後の山元海岸の状況、山元海岸の消波ブロック、起重機船の画像  
＜発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者クラブ、東北専門記者会＞

#### 【問い合わせ先】

東北地方整備局 仙台河川国道事務所 仙台湾南部海岸復旧推進室

室長

武田 節朗

TEL 022-248-4131 (内線203)

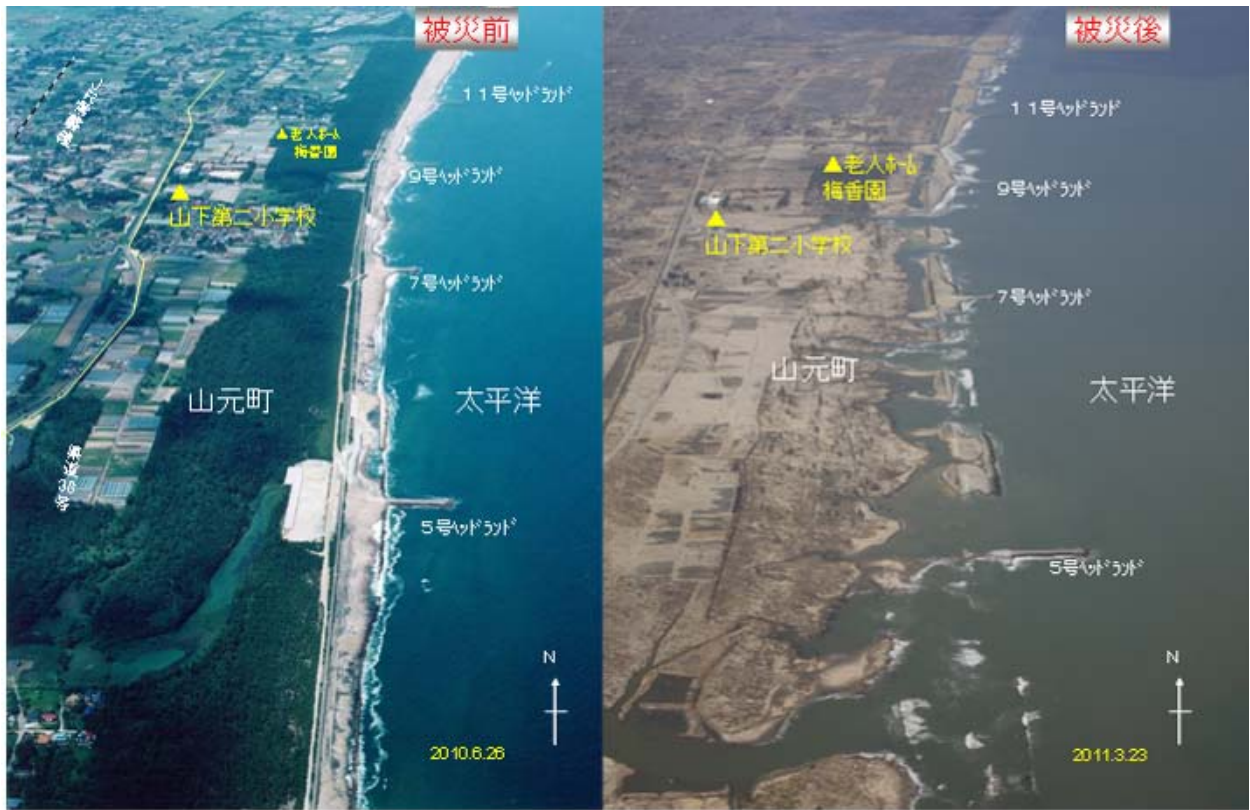
東北地方整備局 河川部 河川調査官

川村 謙一

TEL 022-225-2171 (内線3513)

(添付資料)

被災前後の山元海岸の状況



山元海岸の消波ブロック



起重機船



消波ブロック

